

うきは市立吉井小学校 創立百五十周年に

令和四年度、吉井小学校は創立百五十周年を迎えました。しかしながらコロナ禍を考慮して、分散型の記念事業を行いました。

第一弾として、十一月の学習発表会に、吉井校区自治協議会の役員さんをお招きし、地域と共に行ってきた吉井小学校の「楽しかった祭」についてお話ししていただきました。子ども達は、百五十年という歴史を感じながら学んだことを発表しました。

そして第二弾として、十二月に平成十三年度の児童・教職員・PTA理事さんを中心に当時に埋めたタイムカプセル開封を行いました。

これは、二十一世紀の幕開けを記念して、旧吉井町内、平成十三年度在籍の児童生徒全員がタイムカプセルを埋設する事業を行っていたことからつながっています。吉井小学校では、記念すべき百五十周年に開封することにしていました。



▲埋設当時の様子

十二月十八日は、雪の降る寒い日でしたが、当時の小学生がスコップを手に集まっていたいただき、無事掘り起こすことができました。カプセルの中には、大人になった自分にあてた手紙や思い出の写真が当時のまま出てきました。参加された方は、自分宛の手紙に笑ったり、当時を懐かしむ思い出話に花を咲かせたりと温かな空気に包まれました。



更に第三弾として、現在の全校児童と教職員でドローンで記念写真を撮りました。

デザインは六年生が考えました。たくさんの方が、明治から今までをつないできたように、自分達もその一ページとなって、友達と友達をつなぎ、また、未来へとつなぐ、「虹」になるようにという思いを込めたものです。全員が小さなドローンの動きに目を奪われながらも、一人ひとりが色画用紙を持ちたり傘をさしたりして緊張感の中で撮影でした。

最後に、創立百五十周年記念事業にご協力、ご支援を頂きました関係者の皆様に感謝申し上げます。

